

# 地質ニュース

地質調査所

NO. 32 1957-4

## 昭和32年度事業計画について

地質調査所は今年で創立75周年を迎えたが、国内の地質と資源に関する先人の業蹟の上に、さらに新しい智識と資料とを重ねようとしている。

すなわち、科学技術の進歩によつて、最近までは見捨てられていた物質を新しい資源として登場させてきたし、一方これらに関する調査・研究も不断に継続され、内容的にも常に更新されている現状である。

地質調査所は、各界の要望にこたえ、その使命を遂行するために、従来からの基本方針に新しいアイデアを織り込んで、32年度の事業計画を次のように決定した。

特別研究費による調査		経常研究費による調査	
特定地域5万分の1地質図幅調査	10	5万分の1地質図幅調査	19
地熱開発調査	2	応用地質調査	8
含チタン砂鉄・磁硫鉄鉱調査	27	石炭調査	13
海陸地帯の総合調査	5	石油調査	4
工業用地下水資源調査	5	金属および硫化鉱調査	10
珪灰石・珪酸マンガングン調査	7	非金属鉱床調査	6
天然ガス調査	5	ゲルマニウム資源調査	3
		特殊地質図作成	3
核原料物質資源調査		研究業務	17

上記のうち、経常研究費による調査は、地質や

資源についてその実態や調査方法等を、一步一步着実に固めてゆくものであり、また特別研究費によるものは、時局の要請等によつて問題となつたものを取り出し、これを重点的に調査しようとするものである。

計画の立案にあつては

- ① 地質図幅調査の促進 とくに総合開発特定地域図幅の早期完成
- ② 名種地下資源 とくに未利用未開発資源の調査
- ③ 調査成果の向上に必要な基礎研究の推進と設備の近代化

などを重視したが、いずれの調査・研究も長期計画にもとづいて組織的に実施する予定である。

この外、各方面への利用に供するために資料の収集や整備の業務も推進させるが、本年度の調査予定については本文7頁に「昭和32年度調査予定地一覧図」として掲げ、各位の御協力と御理解をお願いする次第である。 (企画課)